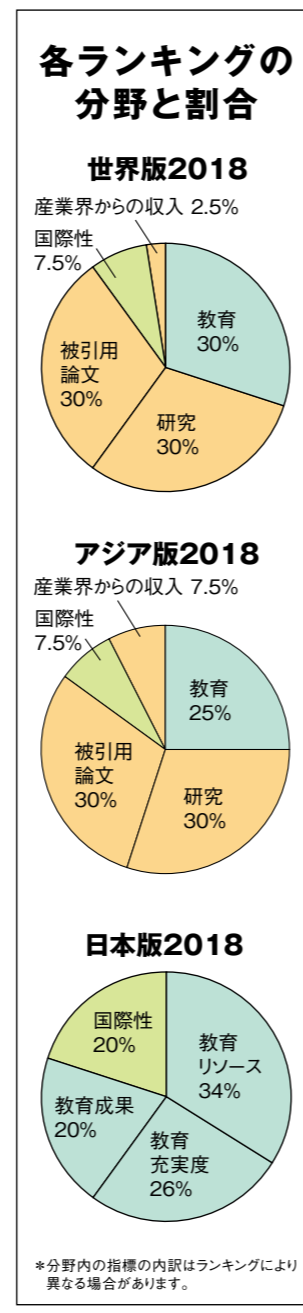


【図表1】ランキングごとに異なる大学の顔ぶれ～THEの各ランキングにランクインした日本の大学例

世界版2018			アジア版2018			日本版2018		
順位	区分	教育機関	順位	区分	教育機関	順位	区分	教育機関
46	国	東京大学	8	国	東京大学	=1	国	京都大学
=74	国	京都大学	11	国	京都大学	=1	国	東京大学
201-250	国	大阪大学	28	国	大阪大学	3	国	東北大学
201-250	国	東北大学	30	国	東北大学	4	国	東京工業大学
251-300	国	東京工業大学	33	国	東京工業大学	5	国	九州大学
301-350	国	名古屋大学	35	国	名古屋大学	6	国	北海道大学
351-400	国	九州大学	=48	国	九州大学	7	国	名古屋大学
401-500	国	北海道大学	=55	国	北海道大学	8	国	大阪大学
401-500	国	東京医科歯科大学	=60	国	東京医科歯科大学	9	国	筑波大学
401-500	国	筑波大学	63	国	筑波大学	10	私	慶應義塾大学
501-600	私	藤田保健衛生大学	=83	私	藤田保健衛生大学	11	私	早稲田大学
501-600	公	首都大学東京	=104	公	首都大学東京	12	公	国際教養大学★
601-800	公	会津大学	109	国	広島大学	13	国	広島大学
601-800	国	千葉大学	=127	私	慶應義塾大学	14	国	一橋大学★
601-800	国	広島大学	131	公	会津大学	15	私	上智大学
601-800	私	順天堂大学	134	国	千葉大学	16	私	国際基督教大学★
601-800	国	香川大学	=135	私	早稲田大学	17	国	東京外国語大学★
601-800	国	金沢大学	=149	国	金沢大学	18	国	神戸大学
601-800	私	慶應義塾大学	=149	国	神戸大学	19	国	千葉大学
601-800	国	神戸大学	=151	私	順天堂大学	20	国	金沢大学
601-800	国	高知大学	153	国	東京農工大学	=21	私	長岡技術科学大学
601-800	国	熊本大学	=168	国	岡山大学	=21	私	立命館アジア太平洋大学★
601-800	公	名古屋市立大学	=171	公	名古屋市立大学	23	私	立命館大学
601-800	国	岡山大学	=173	公	横浜市立大学	24	国	九州工業大学
601-800	公	大阪市立大学	=175	私	香川大学	=25	国	岡山大学
601-800	国	東京農工大学	=175	私	東京理科大学	=25	国	横浜国立大学
601-800	私	東京理科大学	=182	国	高知大学	27	私	立教大学★
601-800	私	早稲田大学	184	国	熊本大学	28	私	同志社大学
601-800	公	横浜市立大学	=185	公	大阪市立大学	29	国	東京農工大学
801-1000	私	中央大学	=194	国	徳島大学	30	私	東京理科大学
801-1000	国	愛媛大学	=200	国	横浜国立大学	31	私	関西学院大学
801-1000	国	電気通信大学	201-250	私	電気通信大学	32	国	お茶の水女子大学★
801-1000	国	岐阜大学	201-250	私	東京慈恵会医科大学	33	私	神田外国語大学★
801-1000	国	浜松医科大学	201-250	私	関西医科大学	34	公	会津大学
801-1000	私	法政大学	201-250	私	近畿大学	35	私	明治大学
801-1000	国	岩手大学	201-250	国	長崎大学	=36	私	熊本大学
801-1000	私	東京慈恵会医科大学	201-250	国	名古屋工業大学	=36	公	首都大学東京
801-1000	国	鹿児島大学	201-250	国	新潟大学	38	国	豊橋技術科学大学
801-1000	私	関西医科大学	201-250	国	埼玉大学	=39	国	東京医科歯科大学
801-1000	私	近畿大学	201-250	私	滋賀医科大学	=39	国	山口大学
801-1000	私	北里大学	201-250	国	信州大学	41	国	東京海洋大学
801-1000	国	京都工芸繊維大学	201-250	国	豊橋技術科学大学	42	国	京都工芸繊維大学
801-1000	国	九州工業大学	201-250	国	山形大学	=43	国	長崎大学
801-1000	私	明治大学	201-250	国	山梨大学	=43	公	大阪市立大学
801-1000	国	三重大	251-300	私	中央大学	45	私	関西大学
801-1000	国	宮崎大学	251-300	国	愛媛大学	46	公	横浜市立大学
801-1000	国	長岡技術科学大学	251-300	国	岐阜大学	47	国	山形大学
801-1000	国	長崎大学	251-300	国	浜松医科大学	48	私	芝浦工業大学
801-1000	国	名古屋工業大学	251-300	私	法政大学	49	私	近畿大学
801-1000	公	奈良県立医科大学	251-300	国	岩手大学	50	私	青山学院大学★
801-1000	国	新潟大学	251-300	私	鹿児島大学	=51	私	中央大学
801-1000	公	大阪府立大学	251-300	私	北里大学	=51	国	新潟大学
801-1000	私	立命館大学	251-300	国	京都工芸繊維大学	53	私	法政大学
801-1000	国	佐賀大学	251-300	国	九州工業大学	54	国	信州大学
801-1000	国	埼玉大学	251-300	私	明治大学	=55	国	電気通信大学
801-1000	私	埼玉医科大学	251-300	国	三重大	=55	私	津田塾大学★
801-1000	国	滋賀医科大学	251-300	国	宮崎大学	57	国	福井大学
801-1000	国	島根大学	251-300	国	長岡技術科学大学	58	国	秋田大学
801-1000	国	信州大学	251-300	公	奈良県立医科大学	59	国	名古屋工業大学
801-1000	国	静岡大学	251-300	公	大阪府立大学	60	私	南山大学★
801-1000	私	昭和大学	251-300	私	佐賀大学	61	私	学習院大学★
801-1000	私	上智大学	251-300	私	埼玉医科大学	62	公	福岡女子大学★
801-1000	私	東海大学	251-300	国	島根大学	63	私	佐賀大学
801-1000	国	徳島大学	251-300	私	静岡大学	64	国	群馬大学★
801-1000	国	東京海洋大学	251-300	私	昭和大学	65	公	大阪府立大学
801-1000	国	富山大学	251-300	私	上智大学	66	私	東洋大学
801-1000	国	豊橋技術科学大学	251-300	私	東海大学	67	国	宇都宮大学
801-1000	国	山形大学	251-300	国	東京海洋大学	=68	国	鹿児島大学
801-1000	国	山口大学	251-300	国	富山大学	=68	私	豊田工業大学★
801-1000	国	山梨大学	251-300	国	山口大学	70	国	埼玉大学
801-1000	国	横浜国立大学				71	国	茨城大学

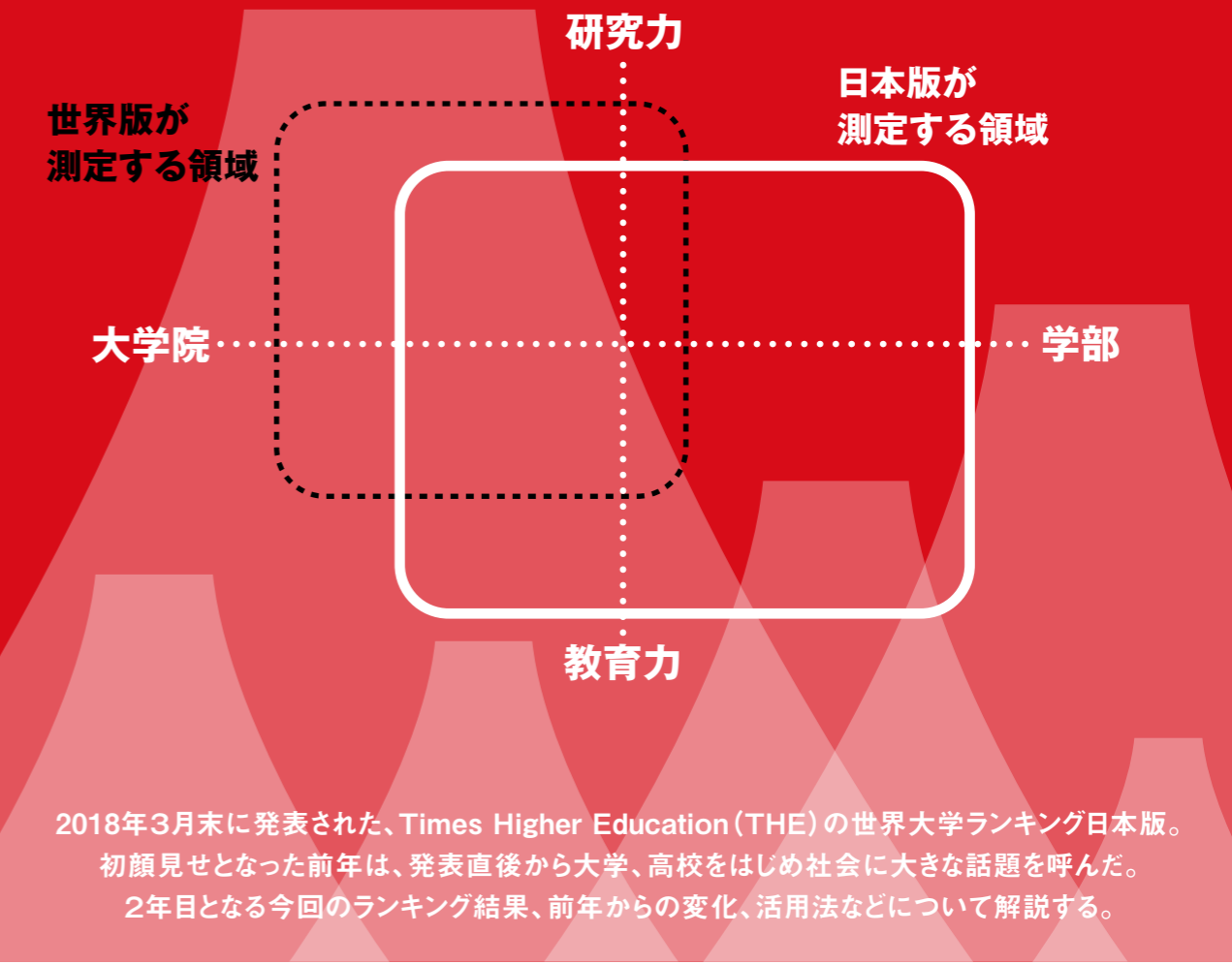
■ 国立大学  
■ 公立大学  
■ 私立大学

\*[★]は日本版のみにランクインしている大学  
\*[=]は同順位の大学あり  
\*同ランクでの掲載順は原則大学名の英語表記のアルファベット順



# 多様性と特色化を促す 日本大学ランキング

Japan University Rankings



## Report THE世界大学ランキング日本版2018 結果分析

「教育力」にフォーカスした日本ならではのランキング

日本の大学の魅力や、大学に対する新たな見方を、国内外に向けてわかりやすく表現するという意図の下、THE世界大学ランキング日本版(以下、日本版)は2017年に誕生した。主に「学部」の「教育力」が対象領域となっており、「大学院」の「研究力」が重視される世界版やアジア版とは対照的だ。世界版、アジア版ランキングの指標については、「教育力」の割合は30%以下。対して日本版は、80%を占めている。

ランキングの顔ぶれにも違いがある。P.3の日本版のランキング表で「★」のついた大学は日本版のみに登場する大学だ。国際教養大学(12位)のようなりべララーツカレッジ、一橋大学(14位)のような人文社会系の単科大学、ほか外語大や女子大など、日本版ではより多様な大学が入っている。

こうした日本ならではの大学の多様性を表すランキングが、年間12億人が訪れるTHEの公式サイトで発表され、全世界が注目している。その影響力を自らの多様化・特色化にどのように生かしていくべきか。すでにこの1年で、多くの大学が検討を進めている。

文/見山雄介

【図表2】分野別ランキングTOP20

■ 国立大学 ■ 公立大学 ■ 私立大学 \* [ ] : 同順位の数あり \* [-] : 総合順位・スコアが151位以下を示す

教育リソース

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	2	国	東京大学	85.4	=1
2	3	国	京都大学	84.7	=1
3	4	国	東北大学	83.4	3
4	1	国	東京医科歯科大学	82.5	=39
5	5	国	浜松医科大学	81.2	141-150
6	12	国	滋賀医科大学	79.7	141-150
7	13	私	兵庫医科大学	79.6	-
8	-	私	東京医科大学	79.5	-
9	10	公	札幌医科大学	78.6	141-150
10	8	国	大阪大学	77.9	8
11	6	国	東京工業大学	77.6	4
12	7	私	豊田工業大学	76.7	=68
13	15	国	旭川医科大学	76.4	-
14	19	私	日本医科大学	76.3	-
15	14	公	奈良県立医科大学	76.1	-
16	18	公	福島県立医科大学	75.8	141-150
17	16	国	北海道大学	75.3	6
18	20	国	筑波大学	75.0	9
19	11	国	九州大学	74.8	5
20	17	私	大阪医科大学	74.3	-

教育成果

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	1	国	東京大学	98.9	=1
2	=2	国	京都大学	98.6	=1
3	9	国	九州大学	97.7	5
4	5	私	慶應義塾大学	97.2	10
=5	4	国	東北大学	95.6	3
=5	6	国	名古屋大学	95.6	7
7	=2	国	大阪大学	95.4	8
8	8	国	北海道大学	94.8	6
9	7	国	東京工業大学	94.7	4
10	10	私	早稲田大学	93.8	11
11	11	国	一橋大学	89.1	14
12	12	国	筑波大学	88.1	9
13	14	国	広島大学	76.6	13
14	15	私	東京理科大学	73.2	30
15	25	国	横浜国立大学	72.9	=25
16	16	国	千葉大学	72.0	19
17	22	公	国際教養大学	70.6	12
18	23	国	東京農工大学	69.6	29
19	18	私	上智大学	69.4	15
20	13	私	神戸大学	69.3	18

\*同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

教育充実度

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	1	公	国際教養大学	99.8	12
2	2	国	東京大学	99.7	=1
=3	=3	国	京都大学	99.6	=1
=3	=3	国	東北大学	99.6	3
5	5	私	早稲田大学	99.2	11
6	6	私	慶應義塾大学	99.1	10
7	7	国	筑波大学	98.6	9
8	8	国	大阪大学	98.5	8
9	=10	国	九州大学	98.4	5
=10	9	国	東京工業大学	98.1	4
=10	=10	私	国際基督教大学	98.1	16
=12	13	国	名古屋大学	97.7	7
=12	12	私	上智大学	97.7	15
=12	14	私	明治大学	97.7	35
15	15	国	北海道大学	97.4	6
16	17	国	広島大学	97.1	13
17	16	国	一橋大学	96.6	14
18	18	私	同志社大学	96.3	28
19	-	私	立教大学	96.2	27
20	19	私	立命館大学	96.0	23

国際性

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	13	公	国際教養大学	100.0	12
2	1	私	立命館アジア太平洋大学	98.9	=21
3	9	私	国際基督教大学	96.8	16
4	6	国	東京外国語大学	91.5	17
5	5	私	上智大学	90.9	15
6	20	私	京都外国語大学	90.1	92
7	=28	私	名古屋商科大学	85.7	111-120
8	-	私	名古屋外国語大学	84.5	=100
9	3	私	東京国際大学	84.0	-
10	-	公	神戸市外国語大学	83.3	83
11	101-110	私	宮崎国際大学	82.4	131-140
12	4	私	麗澤大学	80.6	121-130
13	-	私	城西国際大学	78.6	-
14	7	公	福岡女子大学	77.3	62
15	19	私	神田外国語大学	76.0	33
16	2	私	大阪経済法科大学	74.8	-
17	45	国	東京工業大学	74.1	4
18	-	私	立教大学	73.9	27
19	=17	私	早稲田大学	73.6	11
=20	25	国	長岡技術科学大学	73.3	=21
=20	53	私	創価大学	73.3	121-130

# 指標解説と分野別ランキング

THE世界大学ランキング日本版2018

ランキング指標を構成するのは、4つの分野の13項目だ。指標の内容、前年からの変更点、結果の注目点を解説する。

## 「教育リソース」「教育成果」「国際性」の項目や割合を変更

THE世界大学ランキングは、ポータルサイトで必要なデータを入力し提出するエントリー制である。そのうえで左の条件に該当する大学は除外している。日本の教育事情をよく知るベネッセグループが情報収集等を支援し、データの収集・集計プロセスは\*1 PWCの監査を受けている。

4つの指標についてはより実態に則したものにするため一部変更されている。これは各大学の意見、文部科学省や大学IR総研とTHE

### 〔除外条件〕

- ※前提として、THEのデータコレクションポータルサイトにデータを入力し、提出し、たうえで、
- ▼必要なデータが入力されていない大学
- ▼「認証評価」を受けていない大学

Eとの議論(P.8)がふまえられたものだ。

「教育リソース」は、充実した教育が行われている可能性を示す。さまざまな教育活動の土台となる分野であるため、4分野のうち最も比重が大きい。大学の規模に左右されやすい、「学生一人あたりの資金」「教員一人あたりの競争的資金獲得数」の割合が各2ポイント減となり、割合は前年の38%から34%に減少した。

「教育充実度」は、高校の進路指導教員への評判調査をもとに、教育に対する期待の実現度を示す。高校教員は自ら大学の情報を調べるだけでなく、大学に進学した卒業生から実態の情報を得ているため、全体の26%と比重が大きくなっている。前年同様全高校の半数弱から回答を集め、2か年分の結果を使用している。

## 日本版2018の指標

分野 Pillars	項目 Metrics	割合*2	対象年	データ元	備考
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金(経常収入/在籍学生数)	8% (10%)	2016年	大学入力情報	
	学生一人あたりの教員比率(教員数/在籍学生数)	8%	2016年	大学入力情報	
	教員一人あたりの論文数(論文数/教員数)	7%	2012-16年	エルゼビア社	ScopusよりTHEが抽出
	大学合格者の学力	6%	2016年	ベネッセ	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数(大学別の獲得件数/専任教員数)	5% (7%)	2016年	大学入力情報	
教育充実度 Engagement	高校教員の評判調査: グローバル人材育成の重視	13%	2016-17年	ベネッセ	2017年調査対象: 日本の高校の進路指導教員。調査書発送校数:5479校*3、回答校数は2415校(全体の約90%の大学名が挙がっている。特定の地域に有利・不利が出ない集計)※2017年、2016年の結果の2か年分を使用
	高校教員の評判調査: 入学後の能力伸長	13%	2016-17年	ベネッセ	
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	10% (7%)	2017年	日経HR	調査対象: 2017年2月現在の全上場企業4701社(ジャストダック等新興市場含む、外国企業は除く)と有力未上場企業847社 調査項目: 過去2年間の新卒採用実績上位10大学について、学生のイメージを12項目、各6段階で聞いている
	研究者の評判調査	10% (13%)	2016-17年	THE世界大学ランキング	研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
国際性 Environment	外国人学生比率(在籍外国人学生数/在籍学生数)	5% (8%)	2016年	大学入力情報	
	外国人教員比率(在籍外国人教員数/教員数)	5% (8%)	2016年	大学入力情報	
	日本人学生の留学比率(留学者数/在籍学生数)	5% (0%)	2016年	大学入力情報	
	外国語で行われている講座の比率(外国語で行われている講座数/全講座数)	5% (0%)	2016年	大学入力情報	

\*1 PricewaterhouseCoopers。世界の4大会計事務所の一つ  
 \*2 ( )内は前年度の% (変更があった指標のみ表示)  
 \*3 複数の科やコースを設置している高校には、調査書を複数枚送付した場合もある

## 初の学生調査を実施 他国と比較検討中

「教育成果」は、卒業生の企業での活躍や教育に対する評判を表す。「企業人事の評判調査」は、卒業生が企業でどれだけ活躍しているかなどの調査項目を追加し、調査対象に一部有力未上場企業を加えた。大学からの「教育力を測るなら就職力を重視してほしい」という要望に応じて割合を3ポイント増やし、「研究者の評判調査」と同じ重みになった。

「国際性」は、国際的な環境の実現度を示す。「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」が追加され、分野の割合は16%から20%に増加した。

指標には含まれなかったが、大學生への調査が初めて行われた。11の質問項目に各0〜10点をつける形式で、日本独自の質問のほか、アメリカ版、西ヨーロッパ版(7月発表予定)と共通の質問が含まれている。THEは4月現在、それらの国・地域と回答を比較できるかを検討中だ。実現すれば、例えば日本に留学を希望する学生が、「自国の○○大学に似たタイプの大学は日本ではどこか」といった観点で留学先を探せる。

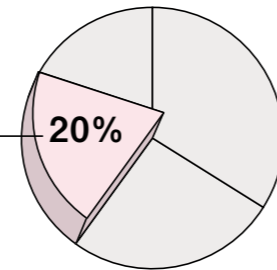
設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	98.9	1	国際教養大学	70.6	1	慶應義塾大学	97.2
2	京都大学	98.6	2	大阪府立大学	68.3	2	早稲田大学	93.8
3	九州大学	97.7	3	首都大学東京	65.3	3	東京理科大学	73.2
=4	東北大学	95.6	4	大阪市立大学	64.8	4	上智大学	69.4
=4	名古屋大学	95.6	5	名古屋市立大学	61.4	5	立命館大学	66.9
6	大阪大学	95.4	6	横浜市立大学	58.4	6	同志社大学	64.9
7	北海道大学	94.8	7	福井県立大学	57.8	7	甲南大学	64.8
8	東京工業大学	94.7	8	秋田県立大学	49.9	8	明治大学	64.1
9	一橋大学	89.1	9	滋賀県立大学	48.7	9	北里大学	62.7
10	筑波大学	88.1	10	兵庫県立大学	48.6	10	中央大学	62.0

\*同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

教育成果  
Outcomes

▶企業人事の  
評判調査：10%  
▶研究者の  
評判調査：10%



**産業界との連携を強く  
社会で必要な力を育成**

前年の割合と比べると、「企業人事の評判調査」の割合が3ポイント加算され、「研究者の評判調査」の割合が3ポイント減少。この変化に各大学の努力が加わり、スコアを大きくアップさせた大学がめだつた。

国立大では東京外国語大学（スコア9.8上昇）、電気通信大学（同9.2）など、公立大では大阪府立大学（同8.5）など、私立大では甲南大学（同33.2）、北里大学（同8.9）などがその例だ。就職力の強さに定評のある大学名が並んでおり、企業における卒業生の活躍が前回以上にスコアに反映されていることがうかがえる。

他方、旧帝大をはじめ、理工系の研究力を強みに研究者からの評判を得ている大学も、依然上位にランクインしている。

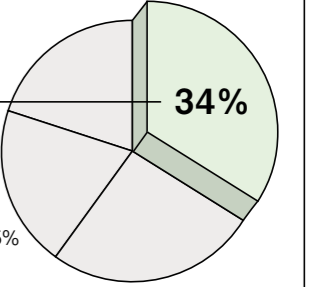
スコアを高めるには、これからの社会で求められる人材や能力を見極め、その養成に産学協働で取り組むことだろう。特に就職力については、努力が比較的反映されやすい。コンピテンシーを養成し、企業から認められたうえで、そのイメージを世間に届けるための広報力が求められる。

設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	85.4	1	札幌医科大学	78.6	1	兵庫医科大学	79.6
2	京都大学	84.7	2	奈良県立医科大学	76.1	2	東京医科大学	79.5
3	東北大学	83.4	3	福島県立医科大学	75.8	3	豊田工業大学	76.7
4	東京医科歯科大学	82.5	4	名古屋市立大学	67.6	4	日本医科大学	76.3
5	浜松医科大学	81.2	5	横浜市立大学	67.5	5	大阪医科大学	74.3
6	滋賀医科大学	79.7	6	大阪府立大学	65.0	6	愛知医科大学	73.8
7	大阪大学	77.9	7	大阪市立大学	64.9	7	関西医科大学	73.2
8	東京工業大学	77.6	8	会津大学	64.8	8	聖マリアンナ医科大学	72.3
9	旭川医科大学	76.4	9	秋田県立大学	60.8	9	東京慈恵会医科大学	71.3
10	北海道大学	75.3	10	石川県立大学	60.3	10	金沢医科大学	70.7

教育リソース  
Resources

▶学生一人あたりの  
資金：8%  
▶学生一人あたりの  
教員比率：8%  
▶教員一人あたりの  
論文数：7%  
▶大学合格者の  
学力：6%  
▶教員一人あたりの  
競争的資金獲得数：5%



**長期的視点で取り組み  
教育環境を整備する**

「学生一人あたりの資金」「教員一人あたりの競争的資金獲得数」の割合が前年より各2ポイント下がり、資金力、研究力の影響がやや小さくなった。

とはいえ上位の大学には、資金力を生かして学生に対して手厚い教育環境を整えているところが多い。国からの補助が相対的に厚い国立大（特に医学部を持つ大学）や、医療系私立大のスコアが高く、医療系私立大のスコアがラック外ながら、この分野で実力を発揮している大学も少なくない。

医療系の学部を持っていない大学としては、東京工業大学、会津大学、秋田県立大学、石川県立大学、豊田工業大学が設置区分別のTOP10入りしている。注目に値すると言えるだろう。

もちろん、いくらリソースが豊富でも、教育施策のさらなる改善や学生の成長につながっていないれば意味がない。長期的視点ではリソースを増やし、学生の教育環境を整える努力を継続しつつも、短期的には、今あるリソースでどれだけ効果的な教育を実現できるか、パフォーマンスを追求する姿勢が必要だ。

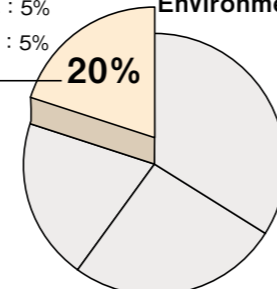
設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京外国語大学	91.5	1	国際教養大学	100.0	1	立命館アジア太平洋大学	98.9
2	東京工業大学	74.1	2	神戸市外国語大学	83.3	2	国際基督教大学	96.8
3	長岡技術科学大学	73.3	3	福岡女子大学	77.3	3	上智大学	90.9
4	一橋大学	73.2	4	会津大学	72.4	4	京都外国語大学	90.1
5	東京医科歯科大学	72.7	5	新潟県立大学	65.1	5	名古屋商科大学	85.7
6	九州大学	72.2	6	群馬県立女子大学	59.6	6	名古屋外国語大学	84.5
=7	北海道大学	67.4	7	宮崎公立大学	58.7	7	東京国際大学	84.0
=7	名古屋大学	67.4	8	愛知県立大学	56.7	8	宮崎国際大学	82.4
9	京都大学	66.3	9	横浜市立大学	51.3	9	麗澤大学	80.6
10	東京大学	65.0	10	長崎県立大学	50.4	10	城西国際大学	78.6

\*同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

国際性  
Environment

▶外国人学生比率：5%  
▶外国人教員比率：5%  
▶日本人学生の  
留学比率：5%  
▶外国語で  
行われている  
講座の比率：5%



**海外ネットワークを広げ  
送り出し、受け入れを拡充**

「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」が項目に加わり、国際化の進展がより多面的に測られるようになった。その影響に各大学の取り組みが重なり、スコアの変動が大きくなった。

国立大は東京医科歯科大学（スコア21.4上昇）、公立大は国際教養大学（同25.6）、私立大は宮崎国際大学（同32.4）などの上昇幅が大きい。東京医科歯科大学はグローバル人材育成プログラムを複数設け、豊かな国際経験を持つスタッフを抱えている。また、宮崎国際大学の国際教養学部は、全員必修の英語で行う海外研修、教員の8割が外国人などの特徴的な取り組みが明確にスコアに反映された形だ。

割合は前年より減ったが、外国人学生・教員の比率を上げるなど学内の国際的な環境を整える努力も大切だ。THEによると、世界の留学生数は2000年から2014年にかけて約2倍に増え、300万人市場となっている。留学生獲得競争に打ち勝つ武器として、日本版のスコアの広報活用も検討してみるとよいだろう。

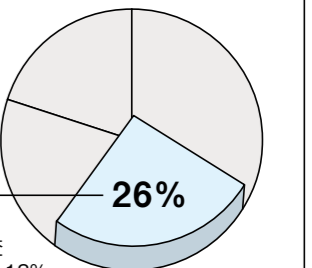
設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	99.7	1	国際教養大学	99.8	1	早稲田大学	99.2
=2	京都大学	99.6	2	会津大学	87.0	2	慶應義塾大学	99.1
=2	東北大学	99.6	3	北九州市立大学	84.2	3	国際基督教大学	98.1
4	筑波大学	98.6	4	首都大学東京	81.1	=4	上智大学	97.7
5	大阪大学	98.5	5	都留文科大学	75.2	=4	明治大学	97.7
6	九州大学	98.4	6	福岡女子大学	74.8	6	同志社大学	96.3
7	東京工業大学	98.1	7	高知工科大学	69.7	7	立教大学	96.2
8	名古屋大学	97.7	8	高崎経済大学	68.4	8	立命館大学	96.0
9	北海道大学	97.4	9	静岡県立大学	67.5	9	立命館アジア太平洋大学	94.9
10	広島大学	97.1	10	神戸市外国語大学	65.7	10	東京理科大学	94.4

\*同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

教育充実度  
Engagement

▶高校教員の評判調査  
〈グローバル人材  
育成の重視〉：13%  
▶高校教員の評判調査  
〈入学後の能力伸長〉：13%



**ステークホルダーへの  
アピールも欠かせない**

4分野のうち唯一、項目もその割合も前年と変わらない分野だ。ランキング大学の顔ぶれも前年と大きくは変わらないが、日本版に初めて登場した大学である高知工科大学、静岡県立大学、神戸市外国語大学、立教大学が各設置区分別のTOP10入りを果たした。

国立大、私立大間でのスコアの差はほとんど見られない。教育リソースでは国立大のスコアが高かったことを考え合わせると、私立大のパフォーマンスのよさがうかがえる。私立大の11位以降を見ていくと、神田外語大学（私立15位）、金沢工業大学（同18位）、津田塾大学（同21位）など、中規模以下の大学や、入試難易度が高くはない大学名も数多く挙がっている。規模の大きさや入試難易度が上位ではなくても、教育充実度を高められることがわかる。

いずれの大学にとっても常に向上をめざすべき分野ではあるが、すでに充実した取り組みを行っているも、それを適切に広報しなければ高校生や保護者の認知度は上がらない。教育力を可視化する広報手段の一つとして、ランキングを活用することも考えたい。